

キャラクター名
蒼姫 瀬良 (あおひめ せら)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ウロボロス	ワークス	UGN支部長D	カヴァー	教師
オプション		年齢	22	性別	女性
覚醒	無知	衝動	憎悪	初期侵食率	37 %
出自	安定した家庭	経験	喪失	邂逅	救済

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	0	1	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正									
白兵			射撃			RC	6		交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
要人への貸し	
思い出の一品	
情報屋	
噂好きの友人	
UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
申し子	P	N		
教わった感情	P 大切	N 不安		
両親	P 好意	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ(ウロ)	2	2	×					
効果:	いつもの							
背徳の理	5	3	オ					
効果:	Lv*2 判定ダイス HP1							
極限暴走	1	+4	常					
効果:	暴走時にHP1のエフェクト起動							
螺旋の悪魔	7	3	セ					
効果:	Lv*3 暴走する ラウンド							
氷の回廊(青)	1	1+1	マ					
効果:	戦闘移動							
加速装置(黄)	2	2+1	セ					
効果:	Lv*4 行動値							
氷の塔(赤)	7	4+1	×					
効果:	Lv*3 範囲(選択)視界							
拡散する影	2	3	マ				80	
効果:	Lv*「ダイス減少した数」+達成値 精神まで 最大20							
セレリティ	1	5	×					
効果:	メジャー2回 10-Lv							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ある事件以来私は、なかった感情を得ることができた。でも、そのせいなのか、そのおかげなのか、前のように誰かを殺すことを躊躇わずにできなくなっていった。

先生を殺した銃を持つことあの時のことを思い出して手が震え引き金を引かない。

私はもう銃を持つことはできない。だから、戦うときはウロボロスの力を多用するようになった。

先生が置いていってくれた、私の新しい居場所であるUGNで、支部長が居ないという話になり、私が少しの間だけ支部長をやる時期があった。それが今から四年前で、匂宮 彼方という少女のとき。事件とともに巻き込まれた。

その時に彼女をかばいながら、戦った結果、後遺症として、自身のウロボロスの力と相手により、私のモルフェウスの能力がなくなった。そのあと、「世界最強」さんも帰ってきて、支部長が私から彼に変わった。

私は、この感情を得てからいろんな人を見たいと思うようになった。だから、「先生」が教えてくれたように、私は先生。教師になりたいと思った。

だから、「世界最強」さんに話をして、いったんUGNのほうの仕事は抜け、教師として、過ごしてみたい。と話した。

家庭教師みたいなものもやりつつ、高校の教師を始めた。

その家庭教師の担当になったのが何の縁か匂宮 彼方だった。

事件以来外に出ることもなくなったため、勉強を教えるため、家庭教師を雇ったのが私だった。

私も、「先生」のように。誰かに手を、多くの人に「よかったですね。」っとたくさんのもを与えていきたい。

FHの時のCN 使い捨ての爆弾(スターボム)

ある事件。
私は先生の言うことを聞いて動いていたが、初めて反抗した。間違っていると思ったから。